

〔自己資本の充実の状況について<レバレッジ比率に関する開示事項>〕

(レバレッジ比率の構成に関する事項)

「国際様式の該当番号」とは、パーゼル銀行監督委員会により2014年1月12日に公表されたレバレッジ比率の枠組みと開示要件と題する文書の表1及び表2に記載された番号を指します。

【連結ベース】

(単位：百万円、%)

国際様式 (表2) の該当番号	国際様式 (表1) の該当番号	項目	2020年9月期	2021年9月期
オン・バランス資産の額 (1)				
1		調整項目控除前のオン・バランス資産の額	7,012,902	6,967,468
1a	1	連結貸借対照表における総資産の額	7,121,992	7,011,859
1b	2	連結レバレッジ比率又は持株レバレッジ比率の範囲に含まれない子法人等の資産の額(△)	—	—
1c	7	連結レバレッジ比率又は持株レバレッジ比率の範囲に含まれる子会社の資産の額(連結貸借対照表における総資産の額に含まれる額を除く。)	—	—
1d	3	連結貸借対照表における総資産の額から控除される調整項目以外の資産の額(△)	109,089	44,391
2	7	Tier1資本に係る調整項目の額(△)	40,234	49,462
3		オン・バランス資産の額 (イ)	6,972,667	6,918,005
デリバティブ取引等に関する額 (2)				
4		デリバティブ取引等に関するRCの額に1.4を乗じた額	—	—
		デリバティブ取引等に関する再構築コストの額	13,514	14,218
5		デリバティブ取引等に関するPFEの額に1.4を乗じた額	—	—
		デリバティブ取引等に関するアドオンの額	22,429	30,947
		デリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた証拠金の対価の額	—	—
6		連結貸借対照表から控除されているデリバティブ取引等に関連して差し入れた担保の対価の額	—	—
		連結貸借対照表から控除されているデリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた証拠金の対価の額	—	—
7		デリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた変動証拠金の対価の額のうち控除する額(△)	—	—
8		清算会員である銀行又は銀行持株会社が補償を義務付けられていない顧客とのトレード・エクスポージャーの額(△)	—	—
9		クレジット・デリバティブのプロテクションを提供した場合における調整後想定元本の額	—	—
10		クレジット・デリバティブのプロテクションを提供した場合における調整後想定元本の額から控除した額(△)	—	—
11	4	デリバティブ取引等に関する額 (ロ)	35,943	45,165
レポ取引等に関する額 (3)				
12		レポ取引等に関する資産の額	69,046	—
13		レポ取引等に関する資産の額から控除した額(△)	—	—
14		レポ取引等に関するカウンターパーティ・リスクのエクスポージャーの額	808	1,431
15		代理取引のエクスポージャーの額	—	—
16	5	レポ取引等に関する額 (ハ)	69,854	1,431
オフ・バランス取引に関する額 (4)				
17		オフ・バランス取引の想定元本の額	432,577	439,693
18		オフ・バランス取引に係るエクスポージャーの額への変換調整の額(△)	308,605	310,432
19	6	オフ・バランス取引に関する額 (ニ)	123,972	129,261
連結レバレッジ比率又は持株レバレッジ比率 (5)				
20		資本の額 (ホ)	664,574	697,396
21	8	総エクスポージャーの額((イ)+(ロ)+(ハ)+(ニ)) (ヘ)	7,202,437	7,093,864
22		連結レバレッジ比率又は持株レバレッジ比率((ホ)/(ヘ))	9.22	9.83
日本銀行に対する預け金を算入する場合の連結レバレッジ比率又は持株レバレッジ比率 (6)				
		総エクスポージャーの額 (ヘ)	7,202,437	7,093,864
		日本銀行に対する預け金の額	1,226,781	1,535,001
		日本銀行に対する預け金を算入する場合の総エクスポージャーの額 (ヘ')	8,429,218	8,628,866
		日本銀行に対する預け金を算入する場合の連結レバレッジ比率又は持株レバレッジ比率((ホ)/(ヘ'))	7.88	8.08

(注)「いよぎん愛媛大学発ベンチャー応援ファンド投資事業有限責任組合」(以下、IEUF)および「いよエバークリーン事業承継応援ファンド2号投資事業有限責任組合」(以下、IEBF2)は、会計上、非連結の子会社であります。自己資本比率告示第三条の規定に従い、規制上の連結対象には含まれております。そのため、「パーゼルⅢ第3の柱に基づく開示事項」における連結貸借対照表は、IEUF、IEBF2を含めて作成した規制上の連結対象に基づいた貸借対照表であり、会計上の公表貸借対照表とは相違します。

(前中間連結会計年度の連結レバレッジ比率との間に著しい差異を生じた原因(当該差異がある場合に限る。))

資本の額の増加により2021年9月期の連結レバレッジ比率は2020年9月期に比べ上昇しました。

【単体ベース】

(単位：百万円、%)

国際様式 (表2) の該当番号	国際様式 (表1) の該当番号	項目	2020年9月期	2021年9月期
オン・バランス資産の額 (1)				
1		調整項目控除前のオン・バランス資産の額	6,984,028	6,929,428
1a	1	貸借対照表における総資産の額	7,093,118	6,973,820
1b	3	貸借対照表における総資産の額から控除される調整項目以外の資産の額 (△)	109,089	44,391
2	7	Tier1 資本に係る調整項目の額 (△)	44,167	42,104
3		オン・バランス資産の額 (イ)	6,939,860	6,887,324
デリバティブ取引等に関する額 (2)				
4		デリバティブ取引等に関するRCの額に1.4を乗じた額	—	—
		デリバティブ取引等に関する再構築コストの額	13,514	14,218
5		デリバティブ取引等に関するPFEの額に1.4を乗じた額	—	—
		デリバティブ取引等に関するアドオンの額	22,429	30,947
6		デリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた証拠金の対価の額	—	—
		貸借対照表から控除されているデリバティブ取引等に関連して差し入れた担保の対価の額	—	—
		貸借対照表から控除されているデリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた証拠金の対価の額	—	—
7		デリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた変動証拠金の対価の額のうち控除する額 (△)	—	—
8		清算会員である銀行又は銀行持株会社が補償を義務付けられていない顧客とのトレード・エクスポージャーの額 (△)		
9		クレジット・デリバティブのプロテクションを提供した場合における調整後想定元本の額	—	—
10		クレジット・デリバティブのプロテクションを提供した場合における調整後想定元本の額から控除した額 (△)	—	—
11	4	デリバティブ取引等に関する額 (ロ)	35,943	45,165
レポ取引等に関する額 (3)				
12		レポ取引等に関する資産の額	69,046	—
13		レポ取引等に関する資産の額から控除した額 (△)	—	—
14		レポ取引等に関するカウンターパーティ・リスクのエクスポージャーの額	808	1,431
15		代理取引のエクスポージャーの額		
16	5	レポ取引等に関する額 (ハ)	69,854	1,431
オフ・バランス取引に関する額 (4)				
17		オフ・バランス取引の想定元本の額	411,514	424,011
18		オフ・バランス取引に係るエクスポージャーの額への変換調整の額 (△)	289,648	296,318
19	6	オフ・バランス取引に関する額 (ニ)	121,865	127,693
単体レバレッジ比率 (5)				
20		資本の額 (ホ)	635,574	671,037
21	8	総エクスポージャーの額 ((イ)+(ロ)+(ハ)+(ニ)) (ヘ)	7,167,524	7,061,614
22		単体レバレッジ比率((ホ)/(ヘ))	8.86	9.50
日本銀行に対する預け金を算入する場合の単体レバレッジ比率 (6)				
		総エクスポージャーの額 (ヘ)	7,167,524	7,061,614
		日本銀行に対する預け金の額	1,226,781	1,535,001
		日本銀行に対する預け金を算入する場合の総エクスポージャーの額 (ヘ')	8,394,305	8,596,616
		日本銀行に対する預け金を算入する場合の単体レバレッジ比率 ((ホ)/(ヘ'))	7.57	7.80

(前中間事業年度の単体レバレッジ比率との間に著しい差異を生じた原因 (当該差異がある場合に限る。))

資本の額の増加により2021年9月期の単体レバレッジ比率は2020年9月期に比べ上昇しました。